

2011年12月期第3四半期決算

2011年11月4日
キリンホールディングス株式会社

第3四半期決算

営業利益・経常利益が過去最高。期央修正計画に対し着実な進捗

主に国内酒類事業、医薬・バイオケミカル事業が増分に寄与

	第3四半期 実績	前年差	前年増減 (%)
売上高	15,491	△536	△3.3
のれん等償却前営業利益	1,551	104	7.2
(のれん等償却額)	(352)	(41)	—
営業利益	1,199	62	5.5
持分法による投資損益	79	△18	△18.5
経常利益	1,155	81	7.6
特別損益	△304	5	—
税金等調整前四半期純利益	850	87	11.4
法人税等	448	△15	△3.3
少数株主利益	133	75	131.3
四半期純利益	269	27	11.2

(単位：億円)

(セグメント別)	第3四半期 実績	前年差	前年 増減 (%)
国内酒類	6,363	△452	△6.6
国内飲料	2,363	△331	△12.3
海外酒類・飲料	3,476	567	19.5
医薬・バイオケミカル	2,540	△455	△15.2
その他	747	135	22.2
売上高	15,491	△536	△3.3
国内酒類	569	21	3.9
国内飲料	32	1	3.3
海外酒類・飲料	150	△8	△5.2
医薬・バイオケミカル	406	48	13.4
その他	48	△12	△19.9
消去・全社費用	△7	12	—
営業利益	1,199	62	5.5

(単位：億円)

投資有価証券評価損の発生等を受け当期純利益予想を修正

売上高・営業利益・経常利益は期央修正予想を継続

	11月4日修正 通期予想	前年増減 (%)	期央修正 との差異
売上高	21,100	△3.1	—
のれん等償却前営業利益	1,913	△1.1	—
(のれん等償却額)	(473)	—	—
営業利益	1,440	△5.0	—
持分法による投資損益	100	6.1	—
経常利益	1,380	△2.1	—
当期純利益	270	137.0	△250

(単位：億円)

事業各社別 売上高・営業利益

		第3四半期実績		通期計画（期央修正）	
		億円	前年増減％	億円	前年増減％
麒麟ビール（単社）	売上高	5,708	△6.6	7,821	△5.3
	営業利益	545	1.0	660	△5.6
メルシャン	売上高	504	△3.4	730	△6.1
	営業利益	1	—	10	355.9
麒麟ビバレッジ	売上高	2,383	△10.9	3,295	△5.9
	営業利益	31	△3.3	40	50.8
L I O N （連結組替後）	酒類	1,429	△0.1	1,963	5.7
	飲料	1,792	46.4	2,363	27.2
	売上高	3,221	21.3	4,327	16.4
	酒類	160	△9.8	234	△8.4
	飲料	6	—	△18	—
	本社費用	△32	—	△72	—
	営業利益	134	△3.3	143	△29.6
協和発酵麒麟 （連結組替後）	売上高	2,623	△13.8	3,420	△17.3
	営業利益	406	13.4	465	△4.6

国内酒類事業（麒麟ビール、メルシャン） 概況

ビール類・RTD*・ワインの各主力商品が引続き好調

9月からは全国キャンペーン・季節限定商品を順次投入、年末最需要期に向け拡売を一層強化

■販売概況

	第3四半期		通期（期央修正）		定性情報
	実績KL	前年増減%	計画KL	前年増減%	
ビール類	1,502	△5.7	2,054	△4.6	主力品が好調を持続（1－9月前年比、以下同様）
ビール	521	△5.1	722	△3.9	・麒麟一番搾り生ビール △2.8%（市場△4.2%）
発泡酒	445	△10.1	597	△9.7	・淡麗グリーンラベル +1.7%
新ジャンル	535	△2.2	735	△0.7	・麒麟のどごし〈生〉 +1.5%
RTD	141	△4.9	192	△4.0	「麒麟チューハイ氷結」の販売が回復 +3.7%
清涼発泡飲料	41	△31.5	58	△25.1	業務用が好調を維持。麒麟フリー取扱店10万店を突破
ワイン		5.0		6.0	国産・輸入デイリーワイン主力品が好調
国産		10.0			・おいしい酸化防止剤無添加ワイン +27%
輸入		△1.0			・フレンジア +9%
					・フロンテラ +7%

■年末最需要期に向けた主な取り組み

麒麟ビール	➢ 定番商品への更なる注力：「麒麟一番搾り生ビール」「淡麗グリーンラベル」「麒麟のどごし〈生〉」 ➢ 季節限定商品による増分獲得：「とれたてホップ一番搾り生ビール」対前年50%増へ ➢ 大型キャンペーンによるお客様需要創造：「今こそ！選ぼうニッポンのうまい！」キャンペーン（9月～）
メルシャン	➢ 最盛期需要の獲得：ボージョレ・ヌーヴォー、スパークリングワイン（「サンライズ スパークリング」他） ➢ 主力品の活動強化：好調なデイリーワイン、「シャトー・メルシャン アンサンブル」（9月発売） ➢ 新しいカテゴリ創造：「メルシャンフリー スパークリング」（11月発売）取り扱い拡大に向け提案活動強化

*RTD：Ready To Drink の略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料

国内飲料事業（麒麟ビバレッジ） 概況

基盤ブランド「麒麟 午後の紅茶」の販売好調が全体を牽引。昨夏猛暑の反動も最小限に留める
年末に向けホット専用飲料市場への対応も強化、一層のお客様需要創造へ

■販売概況

	第3四半期		通期（期央修正）		定性情報
	実績 (万%)	前年比	計画 (万%)	前年比	
国内	13,009	98%	17,660	101%	・ 7－9月前年比98%（市場98%）
紅茶	3,427	108%	4,680	105%	・ 紅茶カテゴリが引続き好調を維持
コーヒー飲料	2,319	94%	3,670	110%	・ コーヒーの主力商品「ファイア」はリニューアル効果もあり9月累計前年比が100%に回復
日本茶	1,581	91%	2,150	97%	・ 水カテゴリは引続き震災後の高需要が継続
水	2,603	116%	3,460	122%	
海外	433	83%	540	78%	・ 中国事業のスキーム変更に伴う減少
合計	13,442	97%	18,200	100%	

■年末最需要期に向けた取り組み

- 基盤ブランドの更なる強化：
 - ・ 「麒麟 午後の紅茶」の季節限定商品をはじめブランドラインナップを拡充
 - ・ 「麒麟 ファイア」は缶・PET両軸での展開強化により各世代の飲用スタイルに対応
- 冬季需要への対応：「麒麟 午後の紅茶」ブランドを中心にホット専用商品7品を9月下旬より順次投入
- お客様の健康志向に対応：「麒麟 からだ想い茶 ぽっぽ茶」発売（11月）

海外酒類・飲料事業（L I O N）

期央修正計画に対し酒類・飲料ともほぼ予定通りの進捗

酒類事業は徐々に回復。飲料事業は中期的な収益性改善に向けた抜本対策を継続推進

L I O N社営業利益増減分析（のれん・ブランド償却前）

■第3四半期

	実績※	前年差異	内容		
酒類	422	△30	販売数量減 原材料コストダウン その他	△34 6 △2	販売数量△4.5%
飲料	92	37	販売数量減 ※※ 原材料コストアップ ※※ その他 ※※ 決算期変更の影響	△81 △38 122 34	販売数量△13.4 % 2010年10－12月実績

※：2010年10月～2011年6月

※※：前年同期比（2011年1月～6月）

（単位：百万豪ドル）

■酒類事業（豪州のみ）

4－6月の販売数量は対前年4.2%増加し、第3四半期累月では△6.2%となり市場△6.3%*を上回った。これによりシェアは1.1ポイント**上昇し、従来のトレンドに戻っている。市場環境の厳しさは続いているが、長期的な視点で持続可能なボリューム・プライス・ミックスのバランスを図るとともに、ブランドの価値向上に向けたイノベーションに引き続き取り組んでいる。

*Nielsen scan track, YTD to 30/06/11 **Nielsen scan track, quarter to 30/06/11

■飲料事業

プライベートブランド（PB）のさらなる拡大による市場の低価格化が進む中、極端に低価格なPB契約を継続しなかったこと等から売上の減少が続いている。長期的に持続可能な成長を目指し、引き続きコアブランドや製造拠点への戦略的な投資を続けている。

医薬・バイオケミカル事業（協和発酵キリン） 概況

主力の腎性貧血治療剤「ネスプ」の販売が引続き好調、上半期に続き医薬事業が好業績を達成
新薬開発は日本、アジアを中心に着実に進展

■主要医薬品売上高

		第3四半期実績		通期計画（期央修正）	
		億円	前年比%	億円	前年比%
腎	ネスプ／エスポー	444	121	561	107
	レグバラ	82	122	111	117
免疫 ・アレルギー	アレロック	222	116	290	108
	パタノール	98	164	116	154
がん	グラン／ノイアップ※	105	94	145	101
循環器系	コニール	143	93	197	94

※ノイアップについては、2010年3月1日付で製造販売に係る権利等をヤクルト本社に継承

■医薬事業概況

- 腎性貧血治療剤「ネスプ」の販売が引続き好調に推移したほか、上半期の花粉飛散量増加による抗アレルギー剤「アレロック」「パタノール」も増分に寄与
- 新薬開発が着実に進展
 - パーキンソン病の運動合併症による運動機能低下に対する治療薬として開発中のKW-6500の承認申請を実施（日本）
 - 進行又は転移性の非小細胞肺癌を対象としたARQ 197の第Ⅲ相国際共同治験を開始（日本、韓国及び台湾）

中期経営計画課題の取り組み状況

中期経営計画課題への取り組みは年間計画を達成

CCTコストシナジー

	通期 計画	第3四半期 実績	進捗率 (%)
生産・物流	47	48	104
調達	40	37	93
I T 他	7	9	111
合計	94	94	100

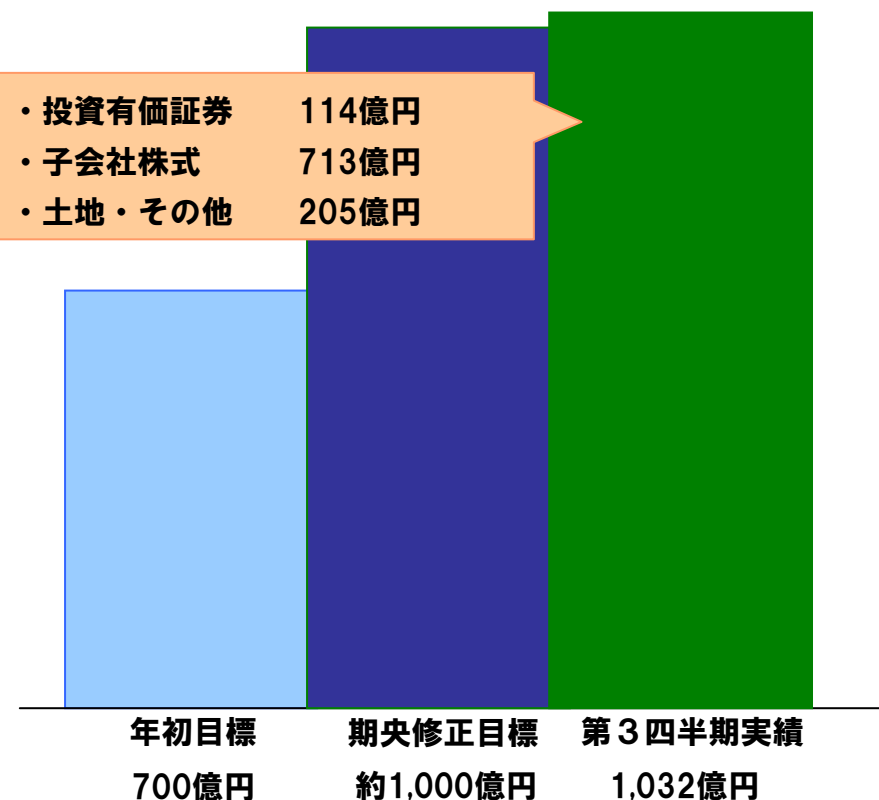
(単位 億円)

事業ポートフォリオの選択と集中

- ・協和発酵ケミカルの全株式を譲渡 (3月)
 - ・メルシャン水産飼料事業を譲渡 (4月)
 - ・キリンオーストラリア(※)の株式を譲渡 (4月)
 - ・メルシャン医薬・化学品事業を譲渡 (7月)
- (※豪州のモルト製造子会社)

資産流動化

- ・投資有価証券 114億円
- ・子会社株式 713億円
- ・土地・その他 205億円



おいしさを笑顔に

KIRIN

補足資料

- ・ 2010—2012年中期経営計画指標
- ・ 2011年 セグメント別売上高・営業利益（実績／計画）
- ・ 2011年のれん等一覧（年間計画・期央修正）
- ・ 各社連結期間
- ・ 抗体医薬 新薬開発状況（2011年10月現在）
- ・ サンミゲルビール社 概況

2010-2012年 中期経営計画指標

		2011年 第3四半期 (実績)	2011年 年間計画 (期央修正)	2011年 年間計画 (期初)	2012年末 計画
売上高	酒税抜き 下段：対前年増減	13,191億円 △2.3%	17,820億円 △2.9%	18,100億円 △1.4%	21,300億円 —
営業利益	のれん等償却前 下段：対前年増減	1,551億円 7.2%	1,913億円 △1.1%	1,943億円 0.4%	2,310億円 —
EBITDA 下段：対前年増減		2,021億円 3.6%	2,940億円 9.1%	3,120億円 15.8%	3,410億円 —

営業利益率 (%)	対酒税抜き・のれん等償却前	11.8	10.7	10.7	10.8
	対酒税抜き・のれん等償却後	9.1	8.1	8.4	8.8
ROE (%)	のれん等償却前		10.4	10.5	10%以上
	のれん等償却後		5.3		
EPS (円)	のれん等償却前		112	113	
	のれん等償却後		54		
海外比率 (%)	酒税抜き売上高	31.4	30	30	29
D/Eレシオ		0.99	0.94	0.65	0.5
総資産回転率	酒税抜き売上高		0.64	0.70	0.80以上

2011年 セグメント別売上高・営業利益（実績／計画）

	売上高			営業利益		
	第3四半期 （実績）	年間計画 （期央修正）	年間計画 （年初）	第3四半期 （実績）	年間計画 （期央修正）	年間計画 （年初）
国内酒類事業	6,363 （△6.6）	8,780 （△5.4）	9,080 （△2.2）	569 （3.9）	700 （△4.4）	735 （0.4）
国内飲料事業	2,363 （△12.3）	3,270 （△6.0）	3,420 （△1.7）	32 （3.3）	40 （63.1）	55 （124.2）
海外酒類・飲料事業	3,476 （19.5）	4,680 （15.8）	4,720 （16.8）	150 （△5.2）	170 （△25.8）	260 （13.5）
医薬・バイオケミカル事業	2,540 （△15.2）	3,330 （△17.9）	3,160 （△22.1）	406 （13.4）	465 （△4.6）	400 （△17.9）
その他事業	747 （22.2）	1,040 （13.1）	1,020 （10.9）	48 （△19.9）	80 （△1.3）	85 （4.9）
全社費用 ・セグメント間取引消去				△7 （－）	△15 （－）	△15 （－）
合計	15,491 （△3.3）	21,100 （△3.1）	21,400 （△1.7）	1,199 （5.5）	1,440 （△5.0）	1,520 （0.3）

上段： 実績または予想（億円）

下段： 前年増率（％）

2011年のれん等一覧（年間計画・期央修正）

		取得年	のれん等償却額合計 ①+② ※1						
			のれん			ブランド			
			償却額①	未償却残高	残年数	償却額② ※2	未償却残高	残年数	
連結子会社	ライオンネイサン	1998	25	168	7	61	72	11	87
	ライオンネイサン（営業権）	1998	10	10	1	—	—	—	10
	ライオンネイサン（完全子会社化）	2009	143	2,582	18	—	—	—	143
	ジェイ・ボーク・アンド・サン	2008	14	89	7	5	32	7	19
	ナショナルフーズ	2007	66	1,088	17	28	402	17	95
	麒麟ビバレッジ	2006	19	289	15	—	—	—	19
	協和発酵麒麟	2007	62	1,009	17	—	—	—	62
	その他		35	—	—	—	—	—	35
	連結子会社計		378			95			473
持分法	サンミゲルビール	2009	59	1,047	18	16	284	18	76
	フレイザー・アンド・ニーヴ	2011	11	283	20	—	—	—	11
	持分法適用関連会社計		70			16			87
合計			449			111			561

※1：指標等における「のれん等償却」

（単位：億円）

※2：科目：減価償却費

各社連結期間

当社決算期間と連結期間が異なる（または変化のあった）主な子会社・関係会社は以下のとおり

■2009年

	2008年				2009年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キリンホールディングス																
ライオンネイサン																
ナショナルフーズ																
サンミゲルビール																
サンミゲル																

■2010年

	2009年				2010年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キリンホールディングス																
ライオンネイサン ナショナルフーズ（酒類）																
ライオンネイサン ナショナルフーズ（飲料）																
サンミゲルビール																

■2011年

	2010年				2011年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キリンホールディングス																
LION（酒類・飲料）																
サンミゲルビール																
フレイザー・アンド・ニーヴ																

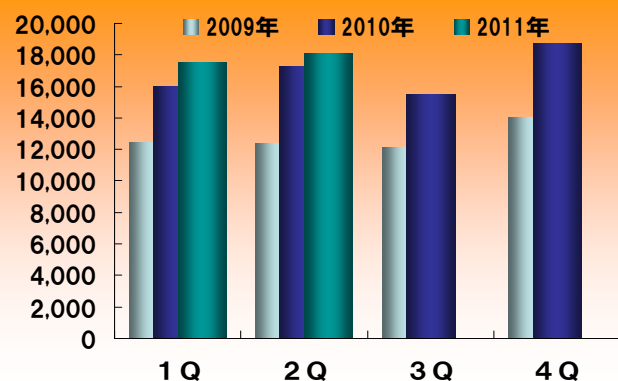
 キリンホールディングス
  連結子会社
  持分法適用関連会社

抗体医薬 新薬開発状況 (2011年10月現在)

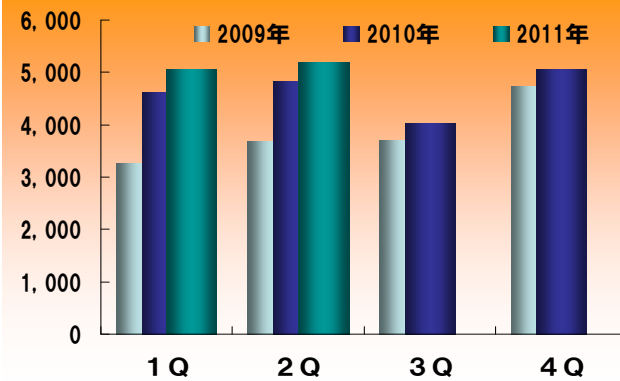


サンミゲルビール社 概況

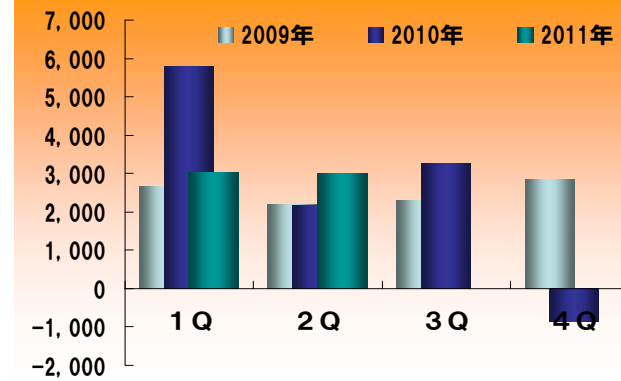
SALES



OPERATING INCOME



NET INCOME



(単位：百万フィリピンペソ、 出典：サンミゲルビール社ホームページ)

- 2011年上半期は、フィリピン国内は引き続き好調な市場を背景に販売数量増（対前年4％）。同国外においても、インドネシア・タイ・香港等での販売好調により、対前年6％の販売増を達成

サンミゲルビール主要ブランド

Upper
Premium



Premium



Upper
Popular



Popular



Economy



Non-
Alcoholic

